



プラス セ ー フ

+ Safe 通信

(介護施設・第3号)

令和7年8月発行

事務局: 富山労働局健康安全課
電話 076-432-2731

富山介護施設 + Safe 協議会

【構成員】社会福祉法人おおさわの福祉会
社会福祉法人喜寿会
特定医療法人財団五省会
富山県厚生部高齢福祉課
富山県老人福祉施設協議会

「富山介護施設+Safe 協議会」とは

転倒、腰痛等の労働災害が増加傾向にある介護施設について、県内のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員として、令和4年度から開催しているもので、構成員が取り組んでいる労働災害防止に向けた好事例を同業種に周知することなどにより、労働災害の減少を図るものです。

令和7年7月7日、富山県総合体育センター(富山市秋ヶ島)において、介護施設における労働災害防止セミナーを開催しました。

説明会では、富山労働局の担当者による介護施設における安全衛生対策のポイント(裏面参照)の説明のほか、社会福祉法人弘陵福祉会 特別養護老人ホーム六甲の館(兵庫県神戸市)の理事長・施設長である溝田弘美氏を講師としてお招きし、ノーリフティングケア等の先進的な取組についてご講演いただきました。



溝田氏による講演の様子

【講演の概要】

演題「利用者ファーストのための職員ファースト実現のためのノーリフティングケア」

- ・介護現場で働く職員の約半数が「腰痛が原因で離職を考えたことがある」一方、介護施設・事業所の多くは腰痛対策を未実施であり、いつ介護職員が「腰痛離職」しても不思議でない。
- ・「職場における腰痛予防対策指針」(厚労省)では人力介護を原則禁止としている。しかし、例外規定もあり、いまだ人力介護が広く行われている。
- ・介護テクノロジーの導入により、「ケアの質の向上」、「業務の効率化」、「職員の負担軽減と満足度の向上」の3つを同時に実現することができる。
特養では、「天井走行リフト」によるノーリフティングケアが有効である。
- ・ノーリフティングケアの導入に当たっては、まず「組織の意識と文化の変革」が重要。その上で、スタッフへの教育やケアプロセスの見直しなどのステップを考慮する。
- ・当施設では、ノーリフティングケアの導入により、残業時間が大幅に減少し、利用者の自立支援と職員の定着が進んだ。
- ・介護業界はこの先も不安がいっぱいであるが、介護テクノロジーの活用等により、今後も「利用者ファーストのための職員ファースト」にチャレンジしていきたい。

【介護施設における安全衛生対策のポイント（概要）】

○転倒・腰痛災害（＝行動災害）対策

・行動災害防止のポイント

作業場所・方法の安全化(従来の取組みを継続)+ 不安全行動を自制(怪我のしやすさ等労働者自身の気づき)

転倒等リスク評価セルフチェック票の活用



腰痛対策事例を紹介



厚生労働省 HP
「転倒災害の防止」



厚生労働省 HP
「保健衛生業における腰痛の予防」

○高齢労働者の安全対策

・令和8年4月1日から高齢者の特性に配慮した作業環境の改善、作業の管理等が努力義務に

エイジフレンドリーガイドライン
(補助金制度もあります)



エイジアクション 100
(チェックリストを活用)



厚生労働省 HP
「高齢労働者の安全衛生対策について」

○全事業場でのストレスチェックが義務化

・今後3年以内に、ストレスチェックが50人未満の事業場についても義務化されます

ストレスチェックの実施の手順（一例）



①、②、③：「ストレスチェック」のフロー ④：「集団ごとの集計・分析と職場環境の改善」のフロー



厚生労働省 HP
「ストレスチェック等の職場におけるメンタルヘルス対策・過重労働対策等」

富山労働局は各事業場に「SAFE コンソーシアム」への加盟を呼びかけています！
2022年6月に厚生労働省が設立した、労働災害防止の取組を進める活動体。
「Sefer Action For Employees」を旗印に、全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指して取り組んでいます。

